

2014 - 12 月号

まほろば 自然農園だより

宮下 洋子
Hiroko Miyashita

雪が解けてきたので、白菜収穫

神様の贈り物

11月半ばの大雪で、農園は、5～60センチも積もったので、もう根雪になるとばかり観念したのですが、すっかり融けて、11月一杯出荷することも出来たし、色んなものを貯蔵する事が出来ました。本当に＜神様の贈り物＞のようなお天気でした。

朝は、大霜で野菜も大地も皆凍りついて、屋前まで融けない事が多かったのですが、何十回とな



雪をかき分けながらの収穫です。

く、融けたり凍ったりを繰り返しながら、それでもなお元気に生き続け、ついに12月を迎えました。

貯蔵出来たのは、大根・聖護院大根・カブ・紅くるり（赤大根）・味辛大根・白菜で、例年になく多種類できました。ただ、量的には、それぞれ多くはありません。でも、当分は大丈夫と思います。

農園が動画になりました

編集長の島田さんが来て、収穫している所を動画でとって、主人のブログに乗せてくれました。新しいソフトを使ってテロップまでつけているので本当に感心してしまいました。雪の中、女性のボランティアさんが、大根抜きを手伝って下さっている所も写っています。関心のある方は、ぜひ、ご覧になって下さい。島田さんの力作です。農園だよりは、静止画になるので残念です。

味辛大根がヘンシ〜ン

辛いのが身上の味辛大根ですが、寒くなるにつれて、だんだん甘くなって来ました。

「何これ、ぜんぜん辛くな〜〜い!」「ええ〜〜っ!」

「これじゃ、味辛大根で売れな〜〜イ」

でも、辛い大根は、意外と売れないから、甘い方が買ってくれるかも・・・お味噌汁に入ると大変美味しい・・・味に深みがある感じです。

豚肉と一緒に千切りにして（道具で突いて）煮ると、塩味だけなのに、甘すぎる〜〜!!

辛くないのに、味辛大根という名前で売っているものかどうか? <看板に偽りあり>という事にも・・・味甘大根?・・・それもおかしいし・・・それで、<寒さで甘くなりました>というポップをつけて売ることになりました。どうか、ご理解下さいませ。

12月2日の空模様

昨日から今日にかけて急激に気温が下がり、雪もチラホラ・・・土も作物も凍りついています。このまま解けないで、そのうち根雪になってしまいそうです。もう、野良着もレインコートも手袋も、長靴も、お世話になった農園グッズは、洗濯して、来年まで冬眠して戴くことになりそうです。畑にも、農園のスタッフにも、ボランティアさん



12/2の農園。このまま根雪になってしまいそうです。



みそ汁に入ると美味しい、辛味大根

にも、すべてに感謝です。ボランティアさんも寒いのに、12月1日まで来てくれました。「ええ〜〜、この寒いのに!!」こちらがビックリです。

私たちより自然の方が上手

一度、やってみたかった事があります。根雪の前の種まきです。毎年、春一番のハウスの青菜類は、虫がつく事はほとんど無く、キレイなものが採れるのですが、春一番の葉物野菜は、なかなかいいものが採れません。雪融けの後、トラクターが入れるほどに土が乾いてから耕して青菜類を種まきするのですが、その後、ある程度の大きさになるまで灌水設備が出来ないので、乾燥して、その時、ピョンピョン虫（正式名称を忘れました）に食べられてしまうのです。

ところが、偶然、前年から種が落ちて（種とりした後とか）自生した青菜類は、虫に食べられないのです。毎年、自然の偉大さに感服して来ました。

《何故だろう?》

とツラツラ考がうるに、きっと

- ① 越冬した種は、春になって発芽する前に、しっかりと根っこを地下に伸ばしているに違いない。

- ② 春、耕やさないので、乾燥しにくく、水分や栄養分の吸収が順調に出来る。
- ③ 草の種も、同時に根っ子こや葉っぱを伸ばし、風の強い春に、保温や保湿の役割をしてくれる。

ところが、春、耕すと間隙が出来て乾燥しやすくなるし、草も生えにくくなる→草も生えなくなると言うことは、作物も生えにくい。



根雪になるまで雨が入らないようにブルーシートをかけます。

12月2日、種まき

そんな事を考えている内に、前年から種を播いてみたくなりました。余り早く播くと、今年中に発芽してしまうので、出来るだけ遅く播こうと計画しました。ところがです。秋野菜の採り入れを優先しているうちに、タイミングを逸してしまいました。

遅くなり過ぎて、雨や雪ばかり降るし、午前中は凍っている事が多いので、土の表面が、種まき機でまけるほどに乾くヒマが無いのです。土の湿気が強いと、種播き機に種ごと団子になってくっついてしまいます。福田君が、どうにか無理やり、水菜、春菊、チンゲンサイ、カブを播きましたが、ほうれん草と小松菜が播けませんでした。



越冬用の聖護院。雪の下に保存して、少しずつ出荷します。

トラクターを、簡単に出ない所に、すでに収納してしまいました。それで播きっぱなしで耕せないのです。凍ってなければレーキで掻き混ぜて、少しは土の中に入れられるのですが・・・

どのくらい種を落とせばいいか、手加減次第なので、誰かが成功するように、3人で播いてもらい

最後の手段、バラマキ

とうとう仕方なく、凍った土の上に、花咲か爺さんのようにバラまきになりました。

種播き機なら、自動的に種の上に土がかかりますが、凍った土の上に播いてもどんなものでしょうか？風もきつい日で、種が飛ばされるのではないかと心配です。

去年も最後に小松菜をバラまいてみたのですが、その時は、播いた上をトラクターで、5センチほどの厚みで耕してもらいました。でも、今年は



折からの雪の中、イチかバチかの種のばら撒き。はたして結果は如何に…？

ました。さて、誰が一番上手でしょうか？あるいは、種が風で飛んでしまって、誰のもだめでしょうか？来年が楽しみです。

去年播いた小松菜はどうなったのでしょうか？

去年も福田君にバラ播きしてもらったのですが、確かにネライ通り、虫はつきませんでした。でも、余りにも大量に種を落としてしまったので、隙間もなく大量に発芽して、栄養失調でひよろひよろになってしまいました。少しくらいの密植なら、間引きながら収穫できるのですが、限度を超えて、手のつけようが無かったのです。

あっという間にトウ立ちしてしまいました。それでも勿体ないと、福田君が小松菜な花として収穫して出荷していたので、食べていただいた方もあるかと思います。

でも、前年から播いたものは虫がつかないという事だけは分かりましたし、その年に播いたものより成長が早く、収穫も早くできるのです。だから、どうしても、今年はもう一回やりたかったのです。

自然の神様の方が賢いに決まっています

例年、ハウスの青菜類が終わる頃に、露地の菜花が採れる様になり、次に露地の青菜類が採れる



畑に残された小松菜。越冬して菜花として復活してくれます。

までに、空白期間がありました。でも、上手くいけば、この空白期間に、前年播きの青菜類が入ってくれて、はざかい期がなく連続的に供給できるかも知れません。しかも、虫のつかないきれいな小松菜や水菜が出荷できれば最高です。

とにかく、自然の神様の方が賢いに決まっています。

プラムとリンゴの木、その後

〇ー1テストしてみましたが、プラムもリンゴも肥料は要らないようです。今年は、花も実もつかなかったもので、来年は花が一杯付いてくれるのでしょうか？何と果樹を育てるという事は気の長いことでしょう。

でも、プラムとリンゴの木を移植して5年ほど経ちましたが、一向にろくな実が付いてくれなかったり、花も実も付かなかったりで、なかなか難しいものです。野菜にかまけて、余り愛情を掛けてあげてないので、来年はもっと頻繁に見回ってあげたいと思います。

それでは、今年一年、農園野菜を愛して下さって本当に有難うございました。農園一同、心より御礼申し上げます。



今年も一年、ありがとうございました！